学校番号	1205

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	（学）日本語基礎	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

初級日本語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の勉強をします。

初級日本語の文を読んで、何が書いてあるか勉強します。

初級日本語の文法・文型、漢字の読みを勉強します。

習った文法・文型を使って簡単な作文を書きます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
初級レベルの日本語言語知識を身につけ、活用できる。
【思考力、判断力、表現力等】
初級日本語の文章を読んで内容を理解することができる。既習の文法・文型を使って作文できる。
【学びに向かう力、人間性等】
日本語や日本文化や自分や周りの生徒の母語や文化に関心を持ち、積極的学ぶ姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日本語の初級文法、語彙、漢字の読みと意味を理解し、使うことができる。 ・場面に応じて日本語を適切に活用できる技能を身につける。 ・簡単な日本語で自分のことを話したり、書いたりすることができる。	・日常生活や学校生活の身近なことについて日本語で発表したり、作文したりすることができる。 ・初級日本語の文章を読んで内容を理解することができる。 ・初級文法・文型を使って作文することができる。	・クラスメイトや自分の母文化・母語に関心を持ち、積極的に学ぼうとする姿勢を身につける。 ・日本語や日本文化に関心を持ち、日本語で表現しようとする態度を身につける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	初級文法1	日本語の初級文法を学習する。	a:初級日本語の漢字を読むこと書くことできる。日本語の動詞、形容詞の活用ができる。 b:既習の文法・文型を使って文を作ることができる。場面に応じた発話ができる。 c:日本語で積極的に表現しようとしている。	宿題 テスト	課題 テスト	課題 プリント 提出
2	初級文法2	日本語の初級文法を学習する。	a:受け身形、使役形、可能形を理解し、作ることができる。 b:既習の文法・文型を使って文を作ることができる。場面に応じた発話ができる。 c:日本語で積極的に表現しようとしている。	宿題 テスト	課題 テスト	課題 プリント 提出
3	初級文法3	日本語の初級文法を学習する。	a:授受表現を理解し使うことができる。 b:既習の文法・文型を使って文を作ることができる。場面に応じた発話ができる。 c:日本語で積極的に表現しようとしている。	宿題 テスト	課題 テスト	課題 プリント 提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度